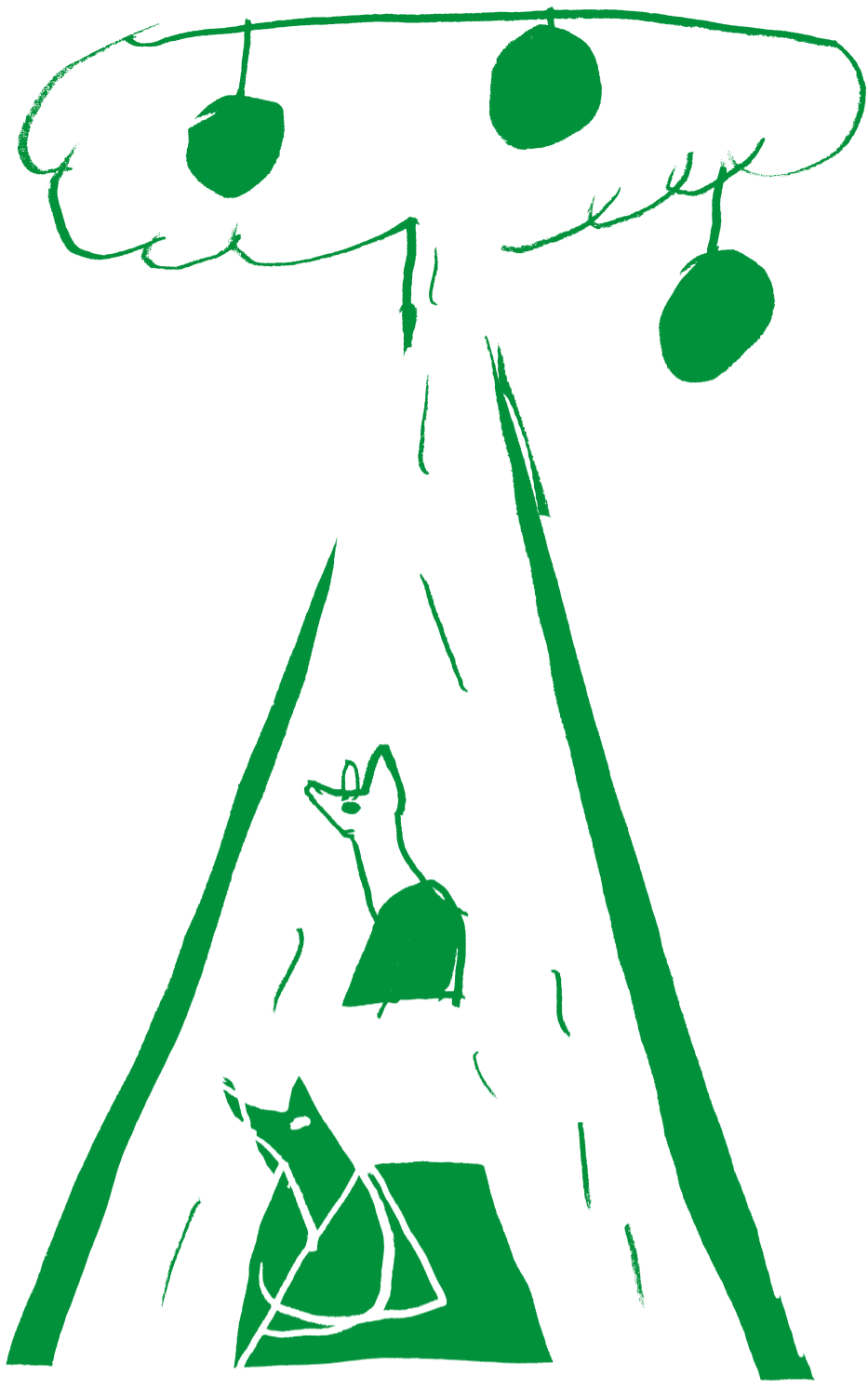


庭は、様々な植物や生き物、環境的要因が交わり作用しあいながら存在しています。
「いきるとつくるのにわ」は人や出来事が出会い、創造的な活動の種が生まれ、
表現や創造性に満ちた瞬間となって実を結び、文化の種となって街に環っていく、
そのように秋田の文化的土壌をたがやしていくことを試みます。
あなたもこの庭で、新しい種を見つけ、一緒に育て始めてみませんか。



P A R K
—
いきるとつくるのにわ



会期：2022年7月～2023年3月

会場：秋田市文化創造館 ほか



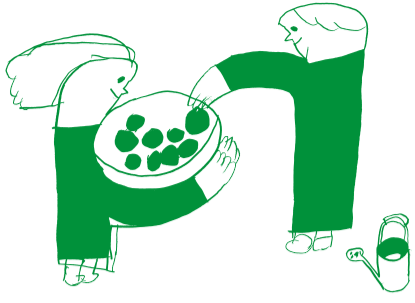
Public,
Arts &
Research
Kitchen

「観察する」クリエイターによるリサーチと表現
「出会う」新しい知識や技術と出会うトーク&ワークショップ
「育む」秋田で暮らす人々が手を動かしかつくることを実践する場
「残す」表現や活動を未来に継承するためのアーカイブ



※本事業は、秋田市「文化創造プロジェクト」の一環として実施しています。秋田市では「文化創造プロジェクト」を通して、市民による様々な活動や、人と人とのつながりを創出するなど、文化を切り口に将来のまちづくりを見据えたソフト事業やネットワークづくりに取り組んでいます。

観察する



つくることを日々実践し、日常の暮らしをユニークな視点で観察しつづけるクリエイター、アーティストが秋田市中心市街地を拠点としたプロジェクトを展開します。

◎参加クリエイター

アウトクロップ (映像プロダクション・ミニシアター)

秋田を拠点にドキュメンタリー制作やシネマ運営を行い、クリエイターとして勢いを増す映像プロダクション・アウトクロップと、秋田市中心市街地にて新たなプロジェクトを始動します。



身体0ベース運用法 (安藤隆一郎)

染色作家による「ものづくりの視点」から「もの」との関わりによって生まれる身体感覚、運動、機能を「0」から見直す身体論です。秋田の伝統的文化から身体結びつきを思考するリサーチワークショップを展開します。



撮影 松尾拓也 提供 京都府立芸術大学

わいなきょうこ (デザイナー、やぶ前)

長らくロンドンで活動後、近年は母の故郷である美郷町を拠点にするわいなきょうこが、秋田の食材を使いながら新たな食風景を作り出すプロジェクトを実施します。



出会う

ローカルなフード(風土)を味わう

第一部では京都大学の秋津元輝教授をゲストに、食という身近な分野を起点としながら、(ちょっと遠くに感じる)未来や環境、社会のことについて考え、話し合います。第二部では美郷町にてスペース・やぶ前を運営するわいなきょうこさんを迎えて、秋田の食材を味わう調理ワークショップ・食事会を開催。頭と身体の両方から、ローカルなフード(風土)を見つめなおしてみましょう。

- 日時/7月31日(日) 13:00-17:00
- 講師/秋津元輝(京都大学農学研究科教授)、わいなきょうこ(デザイナー、やぶ前)
- 定員/第一部25名、第二部20名(要申込、先着順)
- 参加料/第二部のみ1500円

7.31



親子でサバイバル(火・食・住)

秋田市文化創造館の屋外エリアにて小学生とその保護者を対象にしたキャンプを開催。火を起こす(火)、ご飯を作る(食)、テントを立てる(住)などの体験から、もしもに役立つサバイバルスキルを学び、実践します。普段まちなかではできない遊びを通して、楽しみながら感性を育みましょう。

- 日時/9月11日(日) 13:00-17:00[予定]
- 講師/柚木恵介(アーティスト、秋田公立美術大学准教授)
- 対象/小学生1~6年生の児童とその保護者
- 定員/10組(要申込、先着順)

9.11



千秋ノ市

しごと、生活、遊び、食など一つ一つに愛や願いを持って暮らす人々が集う「千秋ノ市」。秋田市文化創造館に様々なジャンルのブースが共存する空間を楽しんでいただけます。日常がちょっぴり豊かになる、新たな文化に出会えるはずです。ミルハスオープンで新たな風が流れる千秋エリアでお待ちしております。

- 日時/9月23日(金・祝) 11:00-16:00
- 企画/ノ市実行委員会(株式会社See Visions)

9.23



食べること、社会の中で生きること

『なぜふつうに食べられないのか:拒食と過食の文化人類学』『他者といきる リスク・病い・死をめぐる人類学』の著者・磯野真穂さんをゲストに迎え、トークイベントを開催します。磯野さんのレクチャーやキュレーター・心理療法士として活動する西原珉さんとの対談を通して、「食べること」や「社会の中で生きること」について私たちがどのように受容/拒絶しているのか考えてみましょう。

- 日時/10月22日(土) 14:00-16:00
- 講師/磯野真穂(人類学者)、西原珉(キュレーション、ライター、心理療法士)
- 定員/40名(要申込、先着順)

10.22



大地をたがやす芸術実践

地域に根ざしたアートの可能性を探究する企画を行う青森県立美術館 学芸員・奥脇嵩大さん、昨年度の秋田市文化創造プロジェクトとして実施した展覧会「200年をたがやす」を企画監修したキュレーターの服部浩之さん、そして集いの場の創出と文化拠点の形成を目指し活動するプロジェクトチーム・野ざらし。各地で行われる文化的土壌をたがやす芸術実践を知り、多様なクリエイティビティに触れてみましょう。

- 日時/11月23日(水・祝) 13:00-17:00[予定]
- 講師/奥脇嵩大(青森県立美術館 学芸員)、服部浩之(インディペンデント・キュレーター)、野ざらし[青木彬(キュレーター)、佐藤研吾(建築家)、中島晴矢(アーティスト)]

11.23



育む

プロジェクトメンバー募集!!

「育む」では秋田市文化創造館での野菜栽培や観察に取り組みながら、食と結びつく様々なテーマについて学び合います。野菜を育て味わうこと、専門家やプロジェクトメンバーと関わり活動することを通して、感性と知性を刺激し、一人ひとりの「生きる」力を育みます。

- 対象/文化創造館での野菜栽培や観察、ミーティングや勉強会に参加できる方
- 実施内容/○野菜の栽培、収穫、調理、実食○野菜生育の観察と記録○参加者同士のミーティングや専門家を招いた勉強会
- スケジュール/○8月11日(木・祝):キックオフミーティング、夏野菜収穫○8月中旬~下旬:野菜植え付け作業○9~12月:栽培・観察、集会の開催○12月頃:収穫、調理、実食予定
- 栽培指導/ガイアガーデン



8.11~

残す



「残す」では「観察する」「出会う」「育む」の取り組みを、クリエイターやイベントゲスト、プロジェクトメンバー、秋田市文化創造館を訪れた人など様々な人たちの目線で記録し、文化創造館内やウェブサイトにて公開します。表現や活動をその場限りのものとせず、次の活動へ繋がる種として未来へ継承することを試みます。

お申し込み

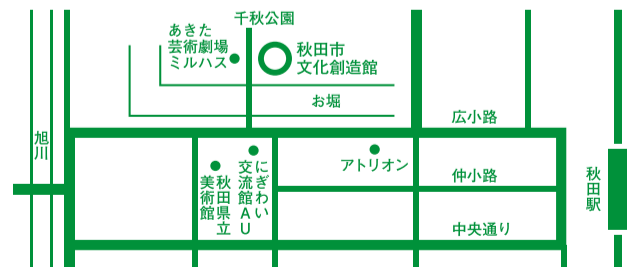
イベント参加・プロジェクトメンバー募集については、お電話(018-893-6424)またはウェブサイトよりお申し込みください。
<https://akitacc.jp/event-project/park/>



お問い合わせ

秋田市文化創造館(NPO法人アーツセンターあきた)
〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16
電話:018-893-6424
メール:park@artscenter-akita.jp
開館時間:9:00-21:00
休館日:火曜日(休日の場合は翌日)、12月29日~1月3日

アクセス



JR「秋田駅」西口から徒歩約10分
路線バス「千秋公園入口」下車徒歩約5分
秋田空港からリムジンバス(「木内前」バス停下車)約45分
駐車場はありませんので、近隣駐車場をご利用ください(車イスをご利用の方などはお申し出ください)

主催:秋田市
企画・制作:NPO法人アーツセンターあきた(芦立さやか、藤本悠里子)